

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第14号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 高知県産学官連携の拠点 ～土佐まるごと社中の設立～

土佐に『志』の有る個人が集う『場』があり、そこに集った個人が意気投合する『仲間』を創って『情熱』を燃やす。『土佐まるごと社中(TMS)』は、土佐における、そんな、産学官連携の拠点としての『サロン』を目指します。(設立趣旨より)

高知県内における産学官民の有機的なネットワークを形成するための「土佐まるごと社中(TMS)」が設立され、6月16日に設立記念イベント、7月11日に世話人会立ち上げの会が開催されました。高知の科学技術と産業の振興を図るとともに地域活性化に寄与することを目的としています。

これから毎月1回、『サロン』を開催する予定となっております。ご興味、ご関心のある方は当センターまでご連絡ください。

## 目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 地域の学習意欲に応えます

p3 産学官連携部門

Topic1. 競争的資金のご案内

p4 知的財産部門

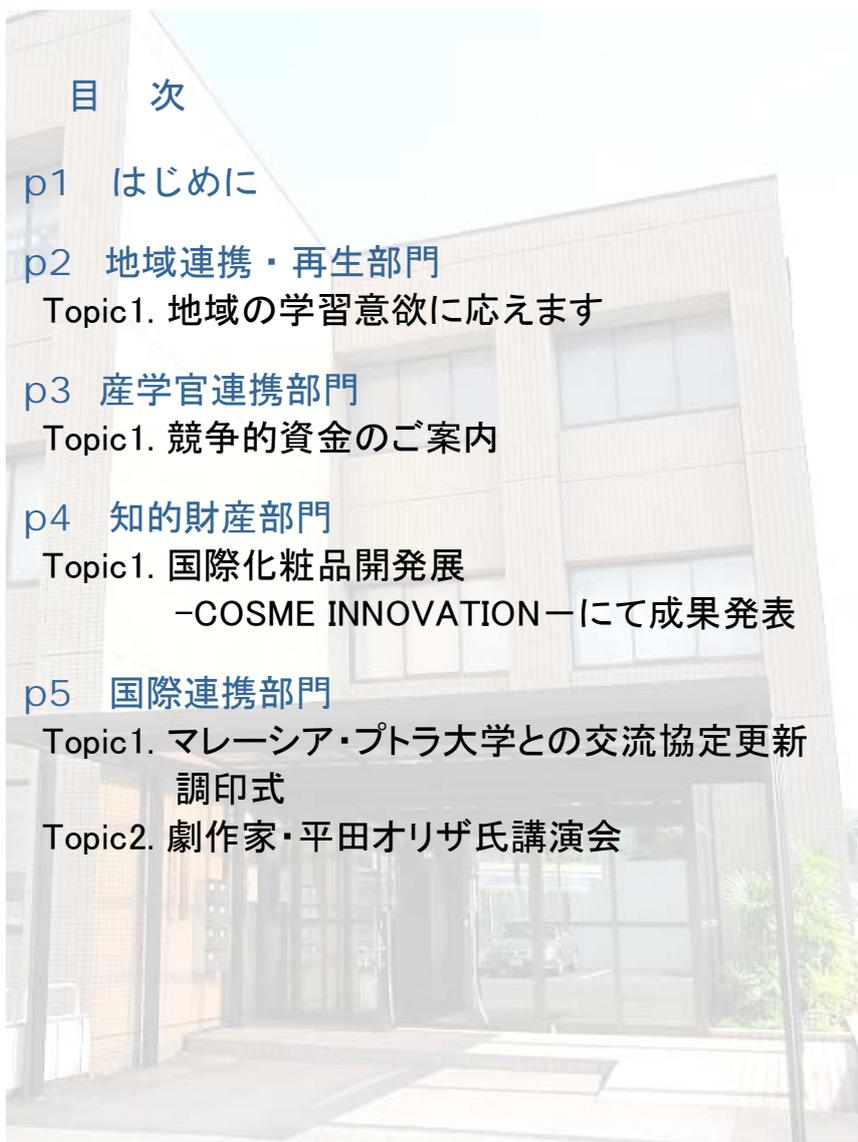
Topic1. 国際化粧品開発展

—COSME INNOVATION—にて成果発表

p5 国際連携部門

Topic1. マレーシア・プトラ大学との交流協定更新  
調印式

Topic2. 劇作家・平田オリザ氏講演会



## Topic 1. 地域の学習意欲に応えます

## ～平成24年度 出前公開講座開始～

出前公開講座は、地域からの要望に応じ、大学が地域に出向き、市町村の教育委員会と連携して実施する公開講座です。講座内容を教育委員会と綿密に打ち合わせ、地元のニーズに合う内容にしているため、これまで好評を博しています。平成24年度は6月20日から芸西村を皮切りにスタートしました。現在講座内容が決まっている自治体は芸西村、土佐町、大豊町の3か所です。

(芸西村) 場所: 芸西村生涯学習館 2階 学習室 時間: 19時～20時半

日程	担当講師名	題目
6月20日 (水)	教育学部学校教育教員養成課程 (理科教育コース) 原田教授	“早寝、早起き、朝ごはんで3つのお得!”を科学する
6月27日 (水)	教育学部学校教育教員養成課程 (家庭科教育コース) 小島教授	キャッシュレス社会における お金との付き合い方
7月4日 (水)	人文学部 国際コミュニケーション 学科 丸井教授	なぜみんなで食べると楽しい のか
7月18日 (水)	教育学部 学校教育教員養成課程 (保健体育コース) 神家教授	発達段階に応じたスポーツ活 動を考える
7月25日 (水)	教育学部 学校教育教員養成課程 (保健体育コース) 野地教授	子どもとスポーツ ～基本と自立～



(土佐町) 場所: 土佐町保健福祉センター(あじさいホール) 時間: 19時～20時半

日程	担当講師名	題目
6月21日 (木)	教育学部学校教育教員養成課程 (家庭科教育コース) 菊地教授	子どもの生活教育と食育に期 待すること 一家庭・学校・ 地域の連携—
6月28日 (木)	国際・地域連携センター 受田センター長・副学長・教授	高知県の水産業… カツオ学会の発足
7月5日 (木)	国際・地域連携センター 菊地特任教授	「平和学への招待」—開発 途上国の紛争と平和の問題 を考える—
7月12日 (木)	国際・地域連携センター 石塚副センター長・准教授	高知県における再生可能エネ ルギーの未来
7月26日 (木)	理学部応用理学科災害科学 横山教授	大地の動きがもたらす土佐町 の災害と恵み



(大豊町) 場所: 大豊町農工センター文化ホール 時間: 19時～20時半

日程	担当講師名	題目
8月24日 (金)	総合研究センター防災部門 原准教授	中山間地域の防災上の課題
8月31日 (金)	医学部附属病院 神経精神科 上村講師	親がぼけたらどうするか 認知症の早期発見と 地域ケア
9月7日 (金)	国際・地域連携センター 受田センター長・副学長・教授	高知県の水産業…カツオ学会の発足
9月14日 (金)	医学部附属病院 リハビリテーション部 石田准教授	健康長寿をおくるための秘訣 ～ロコモ体操を実践して元気で長生きしよう～
9月21日 (金)	人文学部 社会経済学科 経済企業情報 田村教授	近代土佐の国際性

## Topic 1. 競争的資金のご案内

## ～A-STEP フィージビリティスタディステージ 募集中～

基礎研究からの研究成果・知的財産を活かした、産学の共同研究開発を推進します！



## JST研究成果最適展開支援事業「A-STEP」

## 【フィージビリティスタディ(FS)ステージ】

探索タイプ：大学等の研究成果の中から、技術移転の可能性を幅広く探索

シーズ顕在化タイプ：大学等の研究成果の中から、産業界の視点でシーズを顕在化

公募期間：平成24年6月1日(金)～7月31日(火)正午まで

採択課題数：探索タイプ 1000 課題程度

シーズ顕在化タイプ 100 課題程度

(※採択課題の予算額等により、大幅に変動する可能性があります。)

試験研究費(間接経費込)：探索タイプ 基準額 170 万円(～300 万円まで)

シーズ顕在化タイプ 基準額 800 万円(～1,000 万円まで)

応募：探索タイプ コーディネータとの共同申請の場合は、コーディネータが代表して申請

企業の開発関係者との共同申請の場合は研究責任者が申請

シーズ顕在化タイプ 企業責任者と研究責任者が連名で申請書を作成、企業責任者が申請

結果通知時期：探索タイプ 10 月頃予定

シーズ顕在化タイプ 11 月頃予定

## 学内応募手続について

国際・地域連携センターへ電子データでご送付ください。

[国際・地域連携センターでの作業]

コーディネータが決まっていない場合、コーディネータの割当及び見解の記入

申請書類の内容確認、知的財産部門・産学連携部門欄の記入

学内応募の詳細は、教職員用掲示板(研究助成)の標題「平成24年度A-STEP第2回公募について」をご参照ください。

※JSTホームページ掲載(下記 URL)の公募要領を確認のうえ、是非とも積極的にご応募いただきますよう、お願いいたします。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>



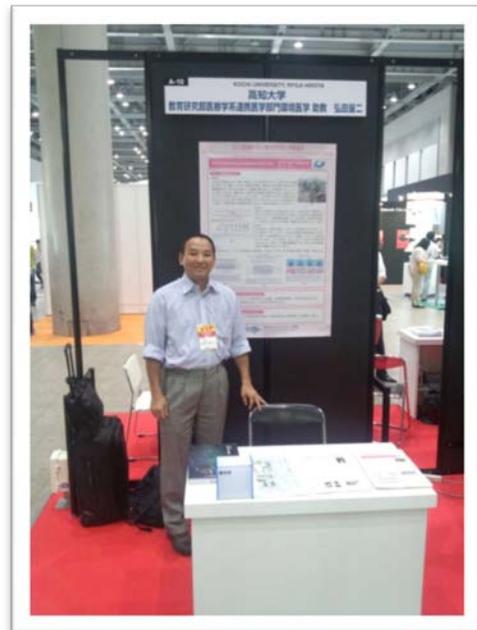
## Topic 1. 国際化粧品開発展-COSME INNOVATION-にて成果発表

6月27日(水)～29日(金)の間、東京ビッグサイトで、化粧品の研究・企画開発に必要なあらゆる製品・サービスを対象とした専門展示会である「国際化粧品開発展 -COSME INNOVATION-」が開催されました。

本学からは、教育研究部医療学系連携医学部門の弘田量二先生が、キク科植物 Vernonia Amygdalina(VAM)葉の抽出物のアトピー性皮膚炎に対する予防又は治療効果に関する研究発表・ポスター展示を行い、スキンケア製品等への実用化に興味を持つ多数の企業関係者に聴講・来場いただきました。このような専門展示会においては、化粧品メーカー等、対象を絞った効果的なアピールが可能で、新規企業とのマッチングや製品化への前進が期待できます。

### 【発表者】

- ・教育研究部医療学系連携医学部門  
助教 弘田量二 先生  
「キク科植物 VAM を利用した化粧品研究」



## Topic 1. マレーシア・プトラ大学との交流協定更新調印式

平成 24 年 6 月 27 日(水)に大学間協定校であるマレーシア・プトラ大学の Aini Ideris 国際担当副学長ほか 2 名が来学し、協定書の調印式を行いました。

同大学は、1931 年に農科大学(短大)として創設され、1971 年にマレーシア農科大学、1997 年に現在のマレーシア・プトラ大学となり、農学、林学などの学部や大学院を有する総合大学です。本学とは、平成 19 年 5 月 18 日に学術交流協定を締結し、農学部が推進するアジア・フィールドサイエンス・ネットワークの基幹校として、研究者や学生の派遣・招聘による交流、共同研究を活発に行ってきました。この度、学生交流に関する覚書を盛り込んだ学術交流及び学生交流に関する協定として更新しました。今回の協定更新により、教育・研究面での交流活動の発展が期待されます。

### <概要>

日 時:6 月 27 日(水)10:00～ 学長表敬訪問、協定書調印式



## Topic 2. 劇作家・平田オリザ氏講演会

### ～変わりゆく日本語、変わらない日本語～

第 6 回目となる国際・地域連携センター国際連携部門講演会を大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授で劇作家の平田オリザ氏を講師に「変わりゆく日本語 変わらない日本語」と題して開催しました。日本語教育関係者をはじめ、本学日本人学生や外国人留学生、地域住民が参加し、「非常に分かりやすく、日本語の歴史や特徴について説明されていたと思う。普段気がつかなかった何気ない日本語の違和感などを客観的に見るいい機会になった」などの意見が聞かれました。

### <概要>

日 時:平成 24 年 6 月 9 日(土)10:30～12:10

参加人員:121 名(学外者 52 名、本学教職員 22 名、本学日本人学生 12 名、本学外国人留学生 23 名、DC セミナー等による参加学生 12 名)

